

「今までに感謝！」

武田病院グループ本部リハビリテーション部

島 浩人

この度、令和2年度京都府保健医療功労賞を京都府理学療法士会の推薦により頂く事ができ、大変光栄に思っております。推薦頂きました会長、理事、ならびに表彰審査委員会の皆様に深く感謝申し上げます。令和2年11月30日に受賞式があり、受賞者は医師、看護師がほとんどでリハ職は私一人でした。コロナの影響もあり、もちろんマスク着用で密にならないように人と人との間隔を空け、同行者の参加もなく、表彰式と祝辞、最後に受賞者全員での記念撮影で終わりました。少し寂しい感じもありましたが、この現状から式典が開催されただけでも、良かったと思っています。



表彰状を頂き、理学療法士になり33年も経ったという実感とその間、いろんな事があったことを思い出しました。

もともと、「この仕事になりたい！」という強い目標があっただけでもなく、家庭の事情で授業料の安い大学で入れそうなどを目指していました。大学に入っても新聞配達、うどん屋の出前、祇園のクラブのバイトなどが忙しく、授業中は居眠りやサボりがちの超劣等生だったように思います。昭和62年になんとか卒業でき国試も合格して、京都市身体障害者リハビリテーションセンターに入職いたしました。そこには、その当時、士会活動に尽力されていた小野先生、浅田先生、草下先生、依岡先生という重鎮がおられ、なぜか右も左もわからないまま士会のお手伝いをさせて頂くようになりました。その当時、PT協会員が5,500人、士会員数が100名程度だったと記憶しています。人数が少なかった事もあり、職場だけでなく他病院の大先輩からも目にかけて頂き、本当に感謝しております。研修会や何かのイベントの後には懇親会を開いて情報交換や親睦を深めたり、北部研修会では4年に1度、お泊まりの研修会があり、研修会の後、BBQや海水浴、ビーチバレーをしたり、また毎年、近畿圏各士会対抗のソフトボール大会があり、それらに参加して楽しい経験もさせて頂き、親睦が深まりました。

士会の業務は、今まで学術関連、広報、庶務、調査資料、学会（京都府理学療法士学会、近畿理学療法学会、日本理学療法学会）などの業務をお手伝いさせて頂きました。その当時はパソコンの普及しておらず、ワープロで宛名印刷機能を利用して郵送物を送っていました。年々、鰻上りに会員数が増え、ワープロで管理していくのは限界が生じたため、パソコンが普及してきた時に導入して、入会年度、会費納入有無、所属施設、住所やさらに新人教育プログラムの取得単位などの管理ができるようにデータベースを作成

しました。また情報発信が紙面誌である士会ニュース「NOW」だけではタイムリーな情報が会員に届けることができず、ホームページを開設してタイムリーに情報を提供させて頂きました。最初は広報部員の一人がホームページビルダーで作成して、更新業務もしてくれました。手作り感があって良かったのですが、情報量が多くなるにつれて更新作業も大変になってきました。更新



作業が簡単にできるように CMS 形式でホームページをリニューアルして、更新作業は士会事務員さんをお願いしました。今では士会ホームページも新しい部員に引き継がれ、更なるバージョンアップや LINE でも情報発信がされており、非常に頼もしく思っています。

その他、公益事業として、府民や介護職などの方に「介助教室」のお手伝いさせて頂いた事もあります。講義は私が担当して、実技は複数の部員にして頂きました。当日までに部員と何度か打ち合わせをする中で、親しくなり勉強にもなりました。

職場（京都市リハセンター）での臨床業務においても患者さんが良くなり、「ありがとう！」と言われることに非常にやりがいを持って、元気づけられました。また、患者さんから作業療法の革細工で名前入りのキーホルダーをプレゼントされたり、障害を持たれてから初めて旅行に行かれたお土産をもらったり、食事に行ったり、映画やプールまでも行ったこともあります（今、こんな事をしていたら叩かれますが（笑））。こんな私でも誰かのためになっているのだなと実感できました。その方々が今は社会で活躍されている事がわかった時は、本当にうれしく思います。

もともと強い希望があった仕事ではなかったのですが、非常にやりがいのある自分にあった仕事だということに気づきました。患者さんに教わる事が多く、さらに職場や士会関連の方にアドバイスを頂いたことで、人の気持ちを考えられる、優しくなれる、謙虚な気持ちになれることの大切さがわかったような気がします。職場の仕事と士会活動が今の私を育て頂いたと切に思っています。

今回、頂きました保健医療功労賞を励みに、これからも新たなステップが踏めるようにリハビリテーション医療に関わっていきたいと思います。京都府理学療法士会の会長、理事、部長、部員の皆様、日頃のご尽力、本当に感謝しております。また、若い会員の皆様、どうか士会活動に目を向けて頂き、研修だけでなく職能や公益といった点にも目を向けて頂ければと願っています。

皆様のご健康とコロナ感染の収束を祈ります。

ありがとうございました。